

県立広島大学大学院総合学術研究科における教育研究環境に関する アンケート調査（平成25年度実施）

実施期間 平成26年2月

アンケート配布数：167名（保健福祉学専攻 50名，経営情報学専攻 29名，人間文化学専攻 23名，生命科学専攻 65名）

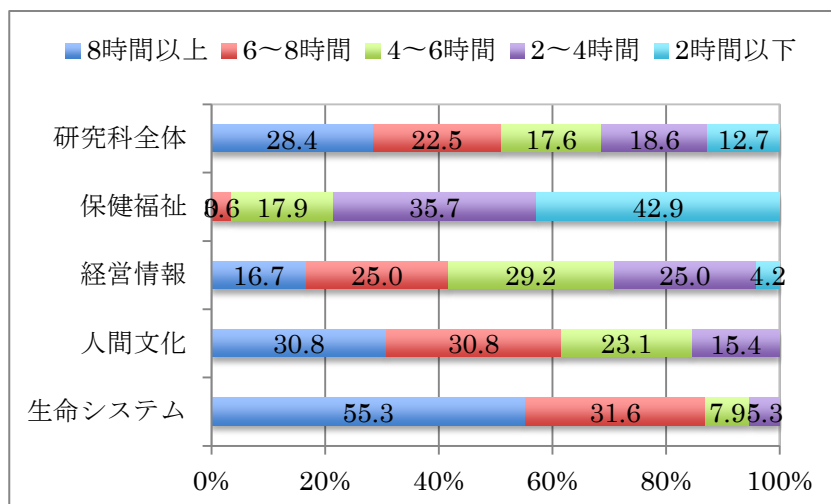
回収数：102名（保健福祉学専攻 38名，経営情報学専攻 24名，人間文化学専攻 13名，生命科学専攻 38名）

平成25年度アンケート調査では，総計102名（61%）の院生が回答した。専攻毎の回収率は，保健福祉学専攻 56%，経営情報学専攻 83%，人間文化学専攻 57%，生命科学専攻 59%であった。

【学習・研究・授業に関する質問】

1. あなたは学習や研究に1日あたりどれくらいの時間をあてていますか。

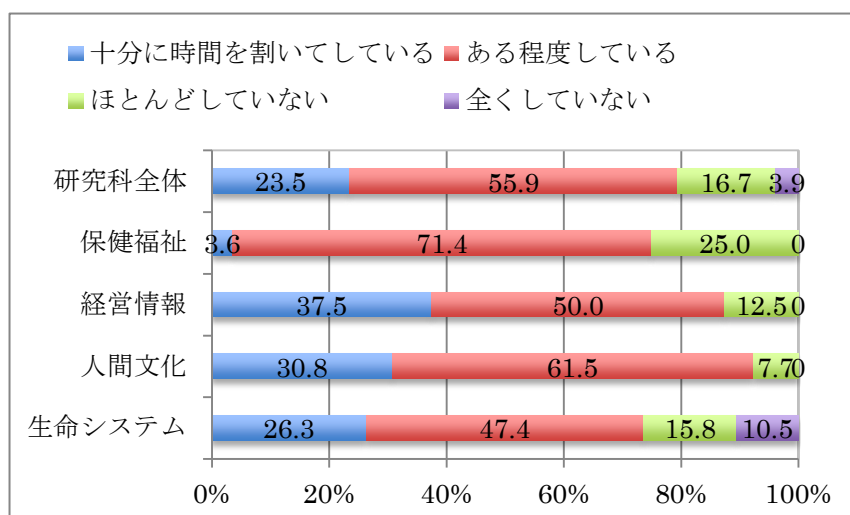
1	8時間以上	2	6～8時間	3	4～6時間	4	2～4時間	5	2時間以下
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------



学習・研究時間が「8時間以上」と回答した院生は生命システム科学専攻で55.3%と多く，理系の特徴と思われた。人間文化学専攻，経営情報学専攻の順に短かった。大部分が社会人である保健福祉学専攻では，1日あたりの学習・研究時間は非常に少なく，「2時間以下」と回答した院生は42.9%もいる。

2. 履修している授業のために，授業時間以外の学習（予習や復習等）をよくしていますか。

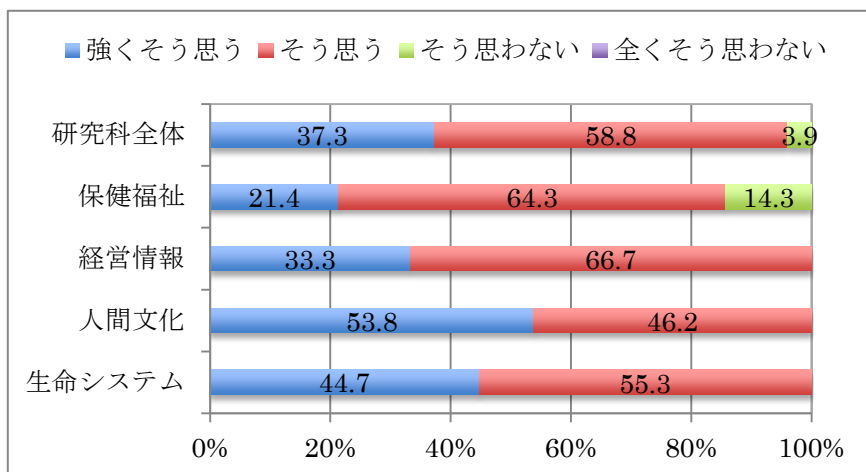
1	十分にしている	2	ある程度している	3	ほとんどしていない	4	全くしていない
---	---------	---	----------	---	-----------	---	---------



授業時間以外の学習時間は，各専攻とも同様な傾向で，「十分に時間を割いている」と「ある程度している」を合わせると，どの専攻も7割を超えている。生命システム専攻では，1割が「全くしていない」と回答した。

3. 授業の目標は明確で体系的であったか。

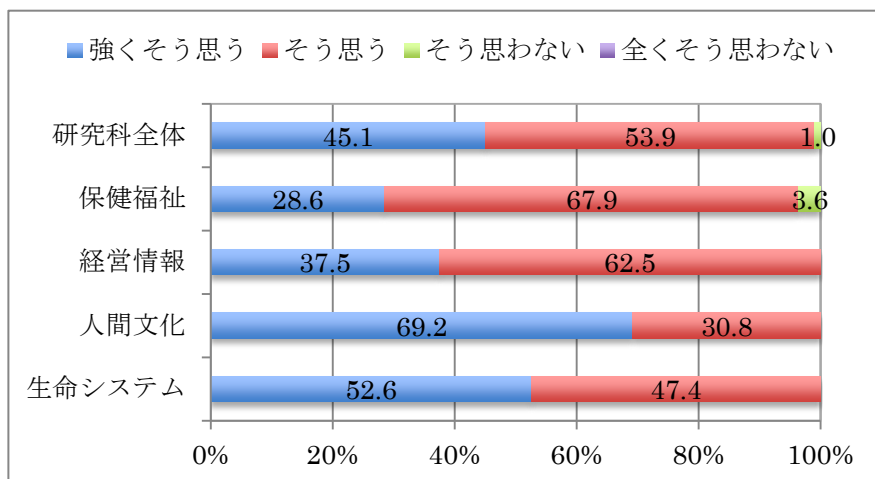
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



「強くそう思う」、「そう思う」と回答した割合は、80%以上である。研究科全体としても、90%以上が授業の目標は明確で、体系的と感じている。意外ではあるが、保健福祉学専攻では約1割が「そう思わない」と回答した。

4. 教員の講義の準備は十分、内容は整理されている。

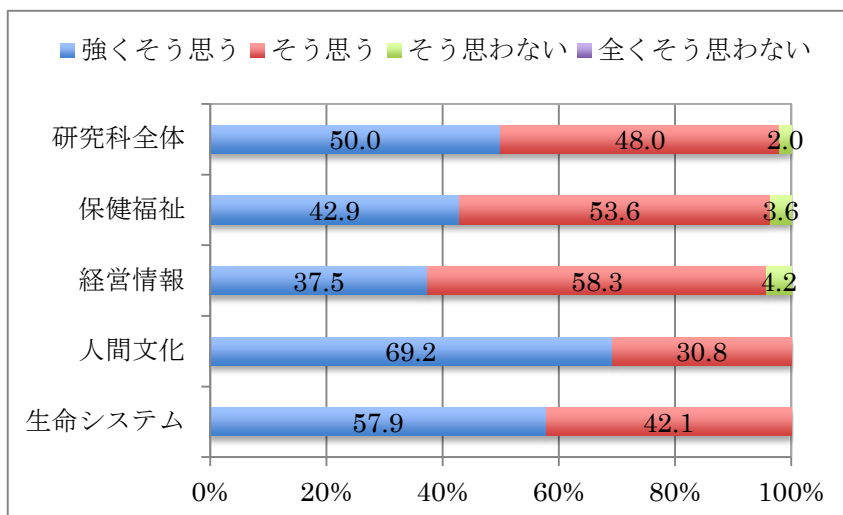
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



どの専攻でも 90%以上の学生が、講義に対する教員の準備は十分で、内容は整理されていると「強くそう思う」、または「そう思う」と回答した。

5. 研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったか。

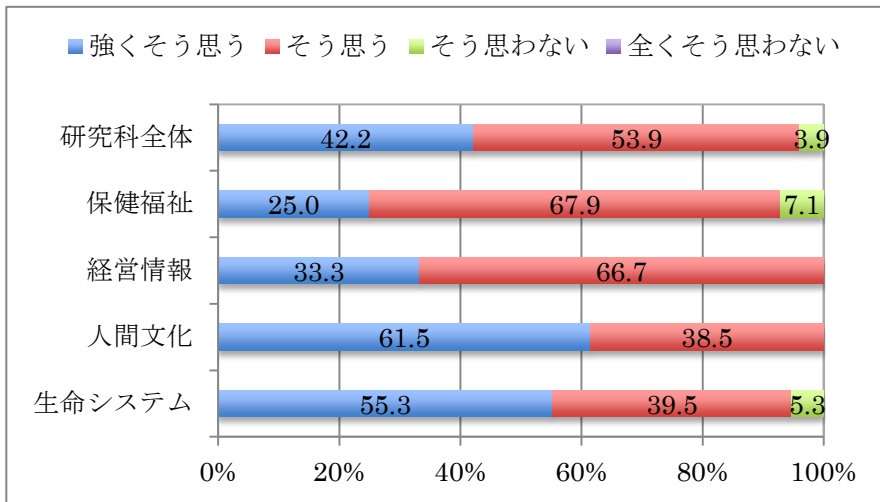
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



どの専攻でも 90%以上の学生が、研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったかの質問に対して、「強くそう思う」、または「そう思う」と答えている。経営情報学専攻では「強くそう思う」の回答が4割以下であり、他の専攻と比べ低かった。

6. 授業内容は大学院の講義として適切であるか。

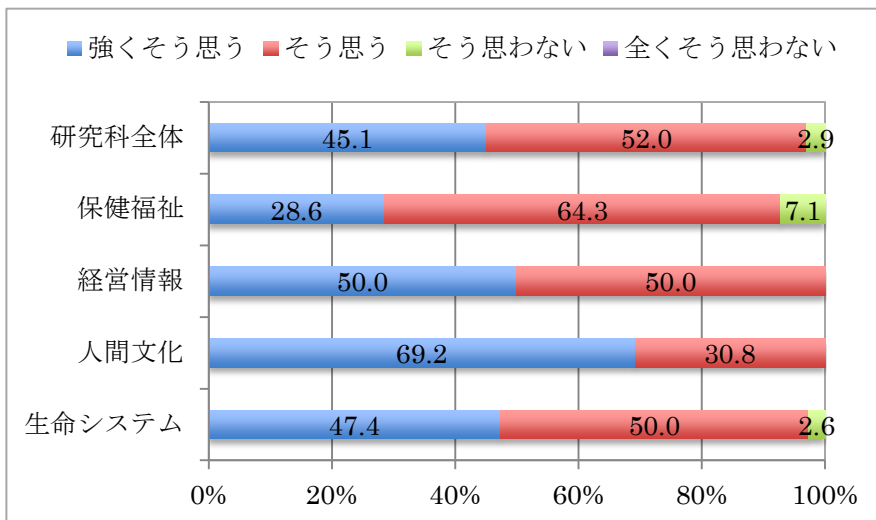
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



授業内容は大学院の講義として適切であったと肯定的にとらえる意見が80%を超えている。一方で、「そう思わない」という回答が保健福祉学専攻が約7%、生命システム学専攻が約5%あり、講義内容の精査は必要である。

7. 教員の熱意が感じられたか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

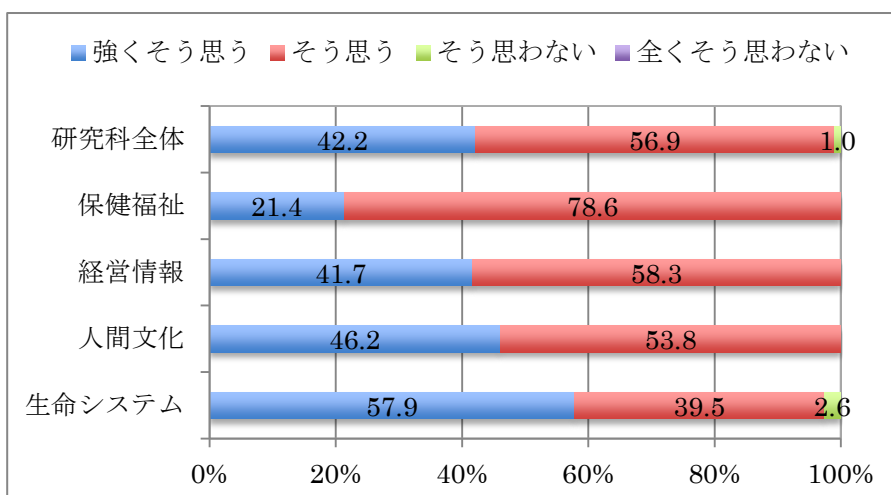


教員の熱意に対しては、約90%の院生が「強くそう思う」、「そう思う」と肯定的であり、全体としては教員の取り組み姿勢は評価されるべきである。保健福祉学専攻で約7%、生命システム科学専攻で約3%が「そう思わない」と回答している。

【成績評価に関する質問】

8. 授業の成績評価は適切に行われているか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

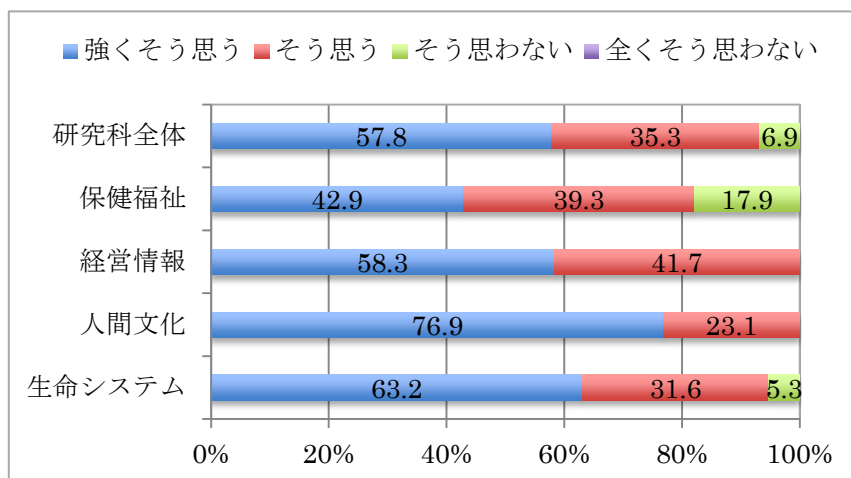


授業の成績評価は適切に行われているかの質問では、「強くそう思う」、「そう思う」と90%以上の学生が回答しており、授業の成績評価は概ね適切に行われている。

【研究指導に関する質問】

9. 専攻での研究指導は適切に行われている

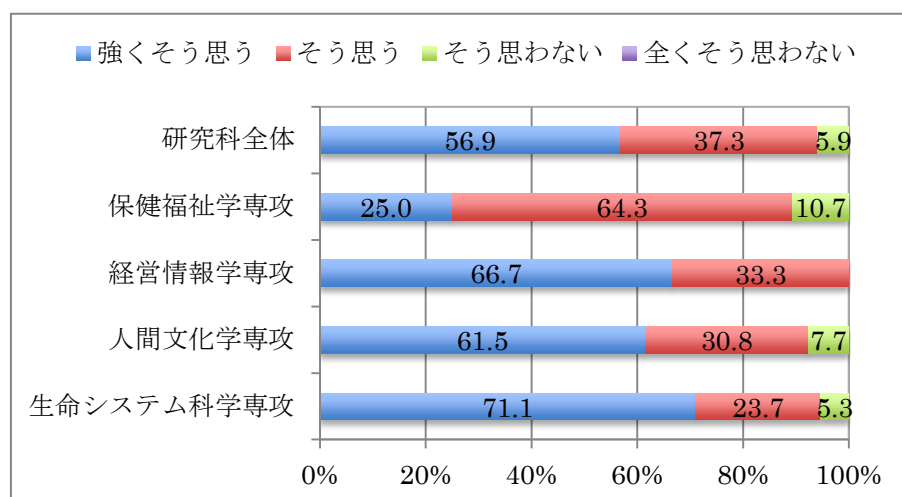
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、研究指導は適切に行われているとの質問に、「強くそう思う」、「そう思う」と90%以上の院生が回答している。保健福祉学専攻では約18%の院生が「そう思わない」と回答している。研究指導に対する対策が必要である。

10. 現在取り組んでいるテーマに満足しているか。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

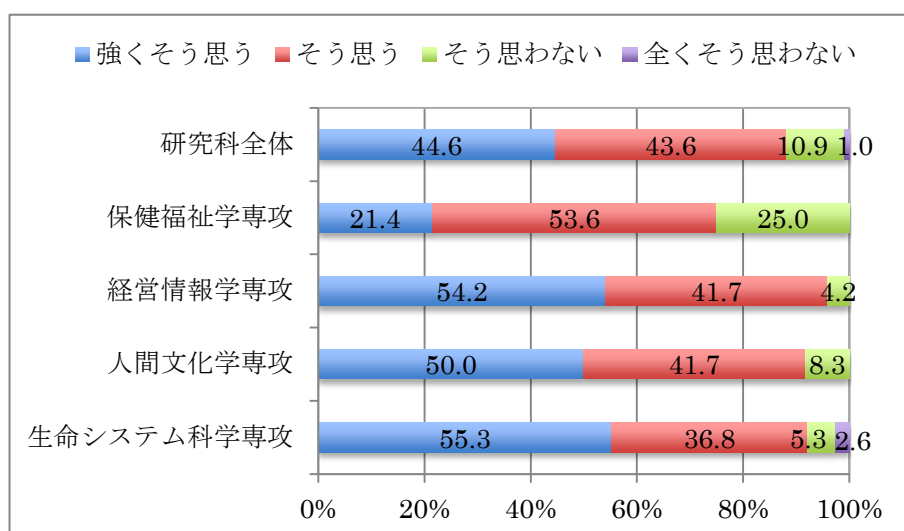


研究科全体では、現在取り組んでいるテーマに90%以上の院生が満足している。保健福祉学専攻では、約11%が「そう思わない」と回答し、人間文化学専攻の約8%、生命システム科学専攻の約5%の順である。

【研究環境に対する質問】

11. あなたの研究環境は質・量とも良好(1)実験室

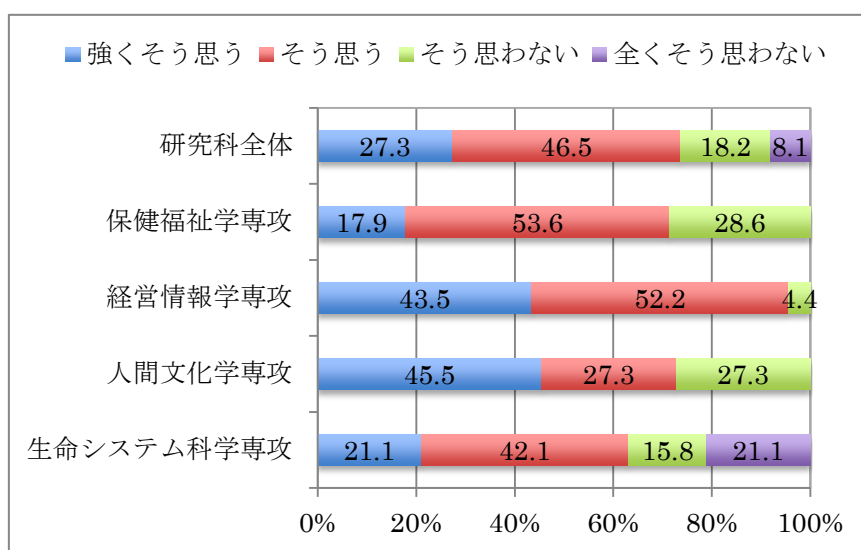
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、約88%が実験室の研究環境に満足している。一方、保健福祉学専攻では、25%が「そう思わない」と回答し、人間文化学専攻約8%、生命システム科学専攻では「全くそう思わない」を含め約8%、経営情報学専攻は約4%の順である。

12. あなたの研究環境は質・量とも良好(2)実験機器

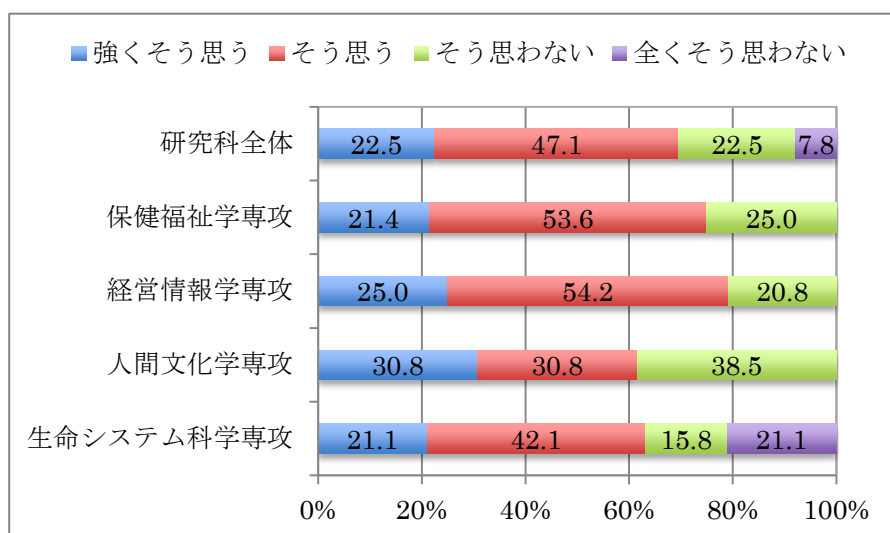
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、約74%が実験機器の質・量ともに満足している。一方で36%が「そうは思わない」、「全くそう思わない」と回答した。保健福祉学専攻では28%、人間文化学専攻では27%が「そう思わない」と回答した。生命システム科学専攻では約37%が「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した。

あなたの研究環境は質・量とも良好(3)図書

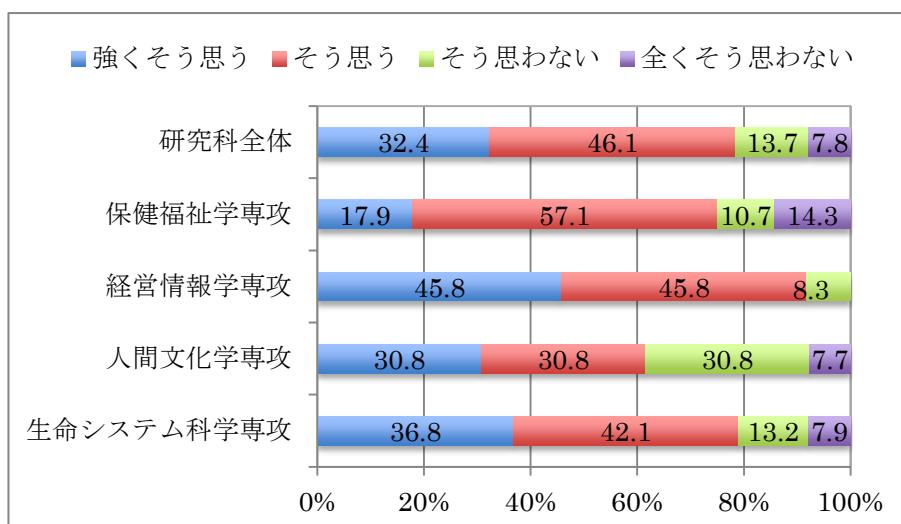
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、約70%が図書の質・量ともに満足している。一方で、約30%が「そうは思わない」、「全くそう思わない」と回答した。人間文化学専攻では、約39%が「そう思わない」と回答した。生命システム科学専攻では約37%が「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した。

13. あなたの研究環境は質・量とも良好(4)コンピューター

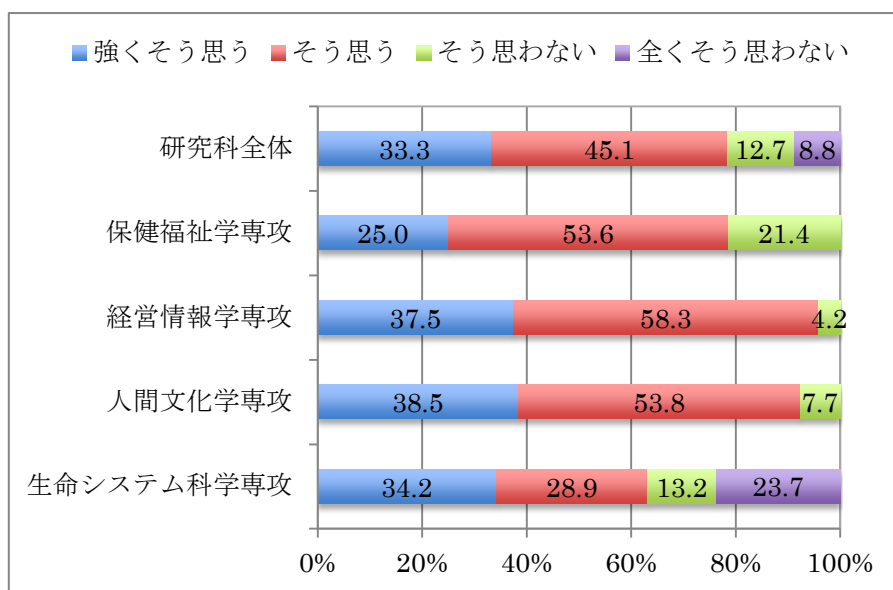
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



コンピューター設備の量と質については、約78%が良好であると回答している。人間文化学専攻では、約39%、保健福祉学専攻では約25%、生命システム科学専攻では約21%が、「そうは思わない」、「全くそう思わない」と回答した。

14. あなたが利用できる大学院生として研究用スペースが適切に備わっている

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

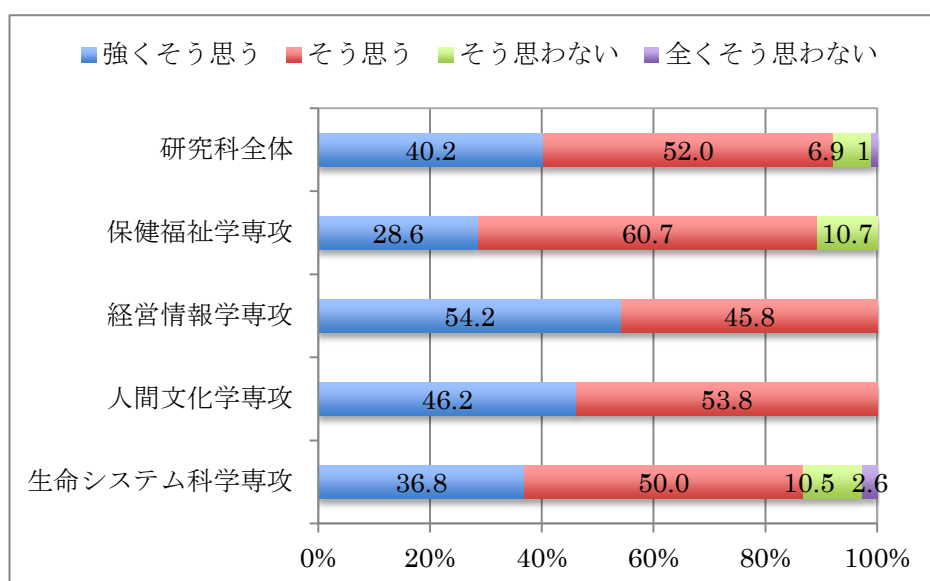


研究用スペースについては、研究科全体では、78%が「強く思う」、「そう思う」と回答した。一方、約 22%がまだ十分ではないと回答した。保健福祉では 21%が「そう思わない」、生命システム科学専攻では、「全く思わない」と合わせて、約 37%が研究用スペースに満足していない。

【大学院に対する満足度に関する質問】

15. あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



総合評価的に判断して、研究科全体では約 92%が、この大学院に満足していると回答した。また、すべての専攻において約 87%以上の満足であった。保健福祉学専攻、生命システム科学専攻では約 1割の院生がこの大学院に満足していないと回答した。